

中国電力に対する島根県の付帯意見

1	審査状況や安全対策の追加・変更状況の適切な説明と丁寧な情報提供
2	最新の知見を取り入れた地震・津波評価の安全対策への反映
3	シビアアクシデント(重大事故)対策の有効性や影響の考慮と、安全対策への反映
4	過去のトラブルによる教訓を反映した、組織・人員体制、教育・訓練の充実・強化
5	自主的・主体的な安全対策の実施
6	原子力災害時の防災体制の構築に向けた関係自治体との緊密な連携
7	関係自治体に対する誠意を持った対応

審査状況説明など要請

付帯意見
7項目提出

島根県が9日、中国電力島根原発3号機の審査申請の事前了解に合わせ、立地、周辺自治体の考えを踏まえ

た7項目の付帯意見を提出した。審査状況を丁寧に伝えることや主体的に安全対策に取り組むことなどを求めた。

ほかには、防災体制の構築に向けた関係自治体との緊密な連携、安全対策は設備や施設の整備だけでなく、組織や人員体制、手順、教育・訓練など人的な面でも充実、強化するよう要請した。

一方、付帯意見とは別に文書で求めた鳥取県を含めて全ての周辺自治体が訴えた「立地自治体並みの安全協定の締結」は盛り込まず、関係自治体に対する誠意を持った対応を要望するにとどめた。

溝口善兵衛知事から意見書を受け取った中電の清水希茂社長は「一つ一つ重要だと考えている。従来にも増して(対応に)力を入れ

たい」と述べた。
(多賀芳文)